

令和8年度 敬老作文



義務教育学校2年生、5年生、8年生を対象として敬老作文の応募をいただき、全体から最優秀賞1点、各学年それぞれから優秀賞3点ずつの計10点の入賞作品が決まりました。
入賞された方々の敬老作文をご紹介します。

最優秀賞

ジジとババの大すきなところ

義務教育学校二年



●●●●さん
(街道)

わたしの大だいのジジとババは、おこめとやさいをつくっています。

ジジはあつい中、いっしょうけんめいおこめをそだてています。ジジとババがそだててくれたおこめはせかい一おいしくていつもいっぱい食べてしまいます。

ババはたくさんそだてたやさいをもつてきてくれます。わたしは、ババがつくってくれるやさいでトマトときゅうりがすきです。ポテトサラダも大すきです。

わたしがかぜをひいたとき、ジジは「月なだいじょうぶか。」とやさしく声をかけてくれます。ババはおいしいうどんをつくってくれます。それを食べたらかぜをひいても元気になります。いつもやさしいジジとババが大すきです。

お正月には大だいのジジとババの家にとまります。わたしはおとりするのがまい年たのしみです。ジジがまき

ストーブでへやをあたためてくれて、ババがおいしいごはんをいっぱいつくってくれます。かぞくみんなていっぱいわらってすごじかんが一ばんしあわせです。ジジとババもたくさんわらっていて、わたしもうれしい気持ちになります。

今はおてつだいをすこししかできないけれど、もっと大きくなったらおこめをつくるおてつだいをしたいです。

わたしは、ジジとババがなかくしているところがとても大すきです。これからもずっとジジとババには元氣になかよくすごしてほしいです。

ジジ、おさけのみすぎないでね。ババ、休むときはちゃんと休んでね。いつもありがとう。大すきだよ。

優秀賞

ぼくのおばあちゃん

義務教育学校二年



●●●●さん
(さくら)

ぼくのおばあちゃんの家には、大きなはたけがあります。そだているやさいは、トマト、ピーマン、ズッキー

ニ、ネギ、ナス、サツマイモなどたくさんあります。ぼくがあそびに行くと、おばあちゃんは、「こんどおばあちゃんのはたけに来て、さつまいもをほりにおいで。」と話してくれます。おばあちゃんの家でそだったさつまいもは、いつもみそしるにしています。

ほかに、おばあちゃんの作るトマトが大すきです。とれたてのトマトをあらってそのまま食べるのが一ばんすきです。ふだんから、おばあちゃんのおいしいやさいを食べているおかげで、きゅう食に出てくるやさいものこさずにおいしく食べることができます。

おばあちゃんは、ぼくのおうちにもあそびに来てくれます。しゆくだいをしているとき、きれいな文字で文しゅうを書く、「じょうずな字できれいだね。」と、いつもほめてくれます。とてもうれしい気もちになるので、これからもずっときれいな字でばんきゅうをがんばりたいです。

ぼくは、虫とりがすきなので、おばあちゃんといっしょに虫をとったり、虫のおうちを作ったりもします。たいへんだけど、おばあちゃんがアドバイスしてくれます。

大すきなおばあちゃん、これからも元氣で長生きしてください。そして、これからもぼくといっしょにあそんでね。

ぼくのおじいさん

義務教育学校五年



●●●●さん
(今戸)

ぼくのおじいさんは、毎日早い時間から野菜や植物に水をあげています。野菜や果物を食べるととてもおいしいです。

ぼくが勉強に困っているときは、おじいさんもおばあさんも教えてくれます。分からないところが分かるようになるので、とてもうれしいです。勉強しているところに弟や妹が周りに来るとおじいさんは毎回弟や妹の相手をしてくれるので、勉強に集中できます。ぼくが絵をかいていると、ほめてくれたり、アドバイスをくれたりします。ほかには、笑わせてくれたり、スポーツのコツやルールを教えてくださいます。

ぼくが休みの日に晴れていれば、公園や色々な場所に弟と一緒に連れて行ってくれます。あるとき、公園で遊んでいると、危ないことをしている人がいました。おじいさんは、その人におかげで、安心して遊ぶことができました。その春やすずしいときは、おじいさんのバイクの後ろに乗せてくれます。

かつこいいおじいさんです。

おじいさんと話していると、おじいさんの昔の話や昔の遊びを教えてくださいます。その話を聞くのが楽しいです。

学校の行事では、応えんをしてくれたり、みんなの登校日のときには、感想を言ってくれたりして元気づけてくれます。運動会ときには、「がんばれ。」と声をかけてくれました。そして、百メートル走で一位になったときには、いっぱいほめてくれました。

ぼくがお風呂からあがると、おじいさんに今日の学校のことを話します。おじいさんは楽しそうに話を聞いてくれます。

このようにぼくのおじいさんは、ぼくのことを、大事にしてくれるじまんのおじいさんです。ずっと元気でいてもらいたいです。

ぼくのおじいさん

義務教育学校五年 中山 陽翔



●●●●さん
(小今戸)

ぼくのおじいさんは、いつも野球を教えてくださいます。守びやバッティングの事を教えてくださいます。そのおかげ

で、だんだん守びやバッティングができるようになったり、部活のときでもうまく守れるようになったりしました。おじいさんのおかげだと思いました。あと、おじいさんと野球を見たり、野球の話をしたりするのもとても楽しいです。おじいさんは部活に行くとき送りおかえもしてくれます。いつも必ず、「がんばって来い。」という言葉をかけてくれます。そのかけ声のおかげでいつもがんばれます。

おじいさんは、昔からお米を作っています。朝早く起きて田んぼを見に行ったり、雨の日いねが大丈夫か見に行ったりして、とてもがんばっています。だから、ぼくも手伝うときがあります。おじいさんのおかげでおいしいお米を食べることができるし、家族みんなで「おいしい。」と言うことができます。大人になったら、おじいさんみたいな働き者になりたいです。最近では、一緒に過ごす時間があまりないので、旅行に行ったり、キャッチボールをしたりしたいです。あと、おじいさんは、高校野球を見に行くので、ぼくも一緒に行って野球の試合を見たいです。

おじいさんの好きな食べ物は、たまごやきで、毎日おべんとうにたまごやきを入れるくらい大好物で、ぼくが作ることがあります。最初は、おばあさんに手伝ってもらっていたけど、今は自分で作ることができるようになりました。

した。おじいさんは食べると、「おいしい。」と言ってくれるので、また今度作ろうという気持ちが出ます。これからもおじいさんとの時間を大切にしていきたいです。

おじいちゃん、

おばあちゃんへの感謝

義務教育学校八年



●●●●さん
(赤沢)

私のおじいちゃんとおばあちゃんは八郎潟町に住んでいます。一緒に暮らしていないので毎日会えるわけではありませんが、会いに行くと、いつも笑顔で迎えてくれます。

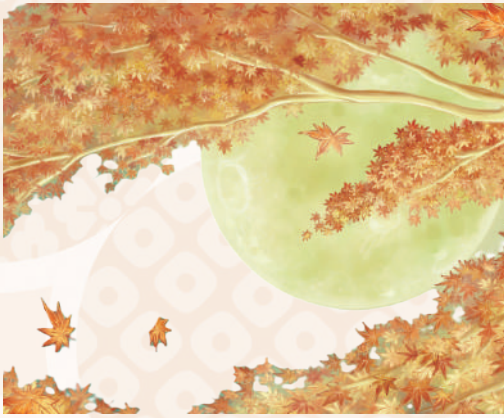
おばあちゃんは、近くのお餅屋さんで働いています。そのため家に行くと、お店のお餅や大福などをよくいただきます。どれもおいしいので、もうとうとううれしい気持ちになります。

また、おじいちゃんとおばあちゃんとは、空手の大会や吹奏楽のコンクールをいつも応援してくれます。会ったときに「頑張っているね。」と声をかけてくれます。私のことを気にかけてくれるのがとてもうれしいです。

最近、会っても自分からあまり話さないことがあります。話しかけてもらっても、短く答えてしまします。本当は、学校のことや部活動のことをもっと話したいと思っています。これから自分から話しかけて、学校であったことや部活動で頑張っていることを伝えられるようになります。そうすれば、おじいちゃんとおばあちゃんはうれしいと思います。

今まで、お餅や大福をくれたり、大会やコンクールを応援してくれたりしましたが、当たり前のように感じていましたが、いつも私のことを考えて、気にかけてくれているのだと改めて思いました。

これからもおじいちゃんとおばあちゃんへの感謝の気持ちを大切にしたいです。おじいちゃん、おばあちゃん、いつも私のことを気にかけてくれてありがとうございます。これからも体に気をつけて、元気でいてください。



祖父母への感謝

義務教育学校八年



●●●●さん
(小今戸)

私にとって祖父母は父母がいる場所とは別のもう一つの居場所だと思います。

私は、小さい頃、引っ越しを繰り返して、祖父母の家にはたまに遊びに行くだけでした。ですが、二年生の頃、井川に定住するようになりました。その時から、祖父母とよく話をしたり、祖父母の家に行ったりするようになりました。

一番印象に残っているのは、四年生の夏、本格的に私が田んぼ仕事を手伝い始めたときです。最初は、初めての作業があつてあまり動けずじまつたが、祖父母が丁寧に教えてくれて、初めてもしっかり働くことができました。それが、一番印象に残っています。その後に食べたお昼ご飯はとても美味しかったです。

祖母とのやり取りで印象に残っているのは、祖母の握ったおにぎりです。

その日は、夏休みの自由研究で疲れていて、私は、とてもお腹がすいていました。その時祖母が握ってくれたおにぎりが、塩昆布おにぎりです。しょっぱいけど、愛がこもっていて、とても美味しかったのを覚えています。それ

以来祖母の握ったおにぎりは食べていませんが、また食べてみたいと思っています。

祖父との思い出は、将棋をしたことです。これは、私が人生で初めてした将棋です。祖父は駒の動きを教えてください、その他にも色々なルールを教えてくださいました。祖父は強く、すぐ負けてしまいました。祖父は強いです。将棋クラブで知識を活かすことができました。

私は、祖父母に色々なことを教えてもらい、色々なことを一緒にやってきました。私にとって祖父母は、友達、もう一つの親のような存在です。だから、私にとって祖父母の家はもう一つの家、居場所なのです。

優しいおばあちゃん

義務教育学校八年



●●●●さん
(上村)

私のおばあちゃんは、いつも笑顔で「おかえり。」と迎えてくれます。勉強で困ったときや落ち込んだときには、「大丈夫、頑張っているね。」と優しく声をかけてくれます。その言葉を聞くと、また頑張ろうという気持ちになります。私は、おばあちゃんにた

くさん助けられているので、これからは私もお手伝いをして恩返しをしたいです。私は敬老の日が近づくと、おばあちゃんのことをよく思い出します。普段は学校や部活動、友達との時間で忙しく、ゆっくり話す機会が少ないこともあります。でも会うたびに「元気にしているか。」と優しく声をかけてくれるおばあちゃんへの存在は私にとってとても大切です。おばあちゃんの家に行くといつも温かいお茶を入れてくれます。そして、私の学校のことを楽しそうに聞いてくれます。テストの結果がよかったときに、喜んでくれる、うまくいかなかったときには、「次があるから大丈夫」と励ましてくれます。その言葉を聞くと、失敗しても前を向いて頑張ろうという気持ちになります。

以前、私が体調を崩したとき、おばあちゃんがとても心配してくれました。おばあちゃんは食べやすい料理を作ってくれました。とても美味しかったです。最近、私のほうが家の手伝いをしたりする機会が増えてきました。最初は少し恥ずかしかったけど「ありがとう。助かるよ。」と言われてとてもうれしかったです。これからも長生きしてね。

